



はやぶさ号

第157号

発行日：平成29年2月1日

発行者：福田脳神経外科病院

院内情報委員会

☎0952-29-2223

診察室から ～ 硬膜下血腫について ～ 院長：田口 明

「硬膜下血腫^{しゅ}」とは、脳組織を保護する硬膜の下に血液がたまる疾患で、原因は頭部打撲（外傷）による場合がほとんどです。打撲をしてから発症するまでの時間の違いで、2つのタイプがあります。

ひとつは打撲後に脳表面の血管に傷が付き、短時間のうちに大出血をきたして意識障害や手足の運動障害が起こるタイプで「急性硬膜下血腫」といい、交通事故や転落などの激しい打撲の場合にみられます。

これに対して、打撲直後は無症状であっても1カ月くらい経過してから歩行障害などの症状が出現する「慢性硬膜下血腫」があります。

このタイプは打撲が本人も記憶にないくらいの軽度である場合もあり、周囲の方が「言うことがおかしい」「歩き方が変だ」「元気がなくなった」などの症状に気づき、来院して発見されることがあります。

特に高齢者では、脳が萎縮し、脳と硬膜の間にすき間ができており、軽度の打撲でも脳が揺り動かされ、このすき間を橋渡しする血管が切れてしまい起こります。治療法としては「急性硬膜下血腫」では、全身麻酔下に緊急開頭術を行い、「慢性硬膜下血腫」の場合には、局所麻酔下に穿頭術^{せんとう}を行います。

両方ともうまく血腫が除去され、脳損傷をくい止めることができれば症状は改善してきます。特に高齢の方は、頭部を打撲しないように気をつけて下さい。

また、打撲後に歩行障害や記憶力低下などの症状に気が付いたら、^{ずがい}頭蓋内精査を試みることをお勧めします。



お知らせ①

1月より、木曜日午後の佐賀大学脳神経外科の先生の変更があります。
紹介状なしで診察を受けることができます。

第1木曜日

脳神経外科 助教

緒方 敦之 先生



得意分野：脳卒中・神経内視鏡学
血管内治療

第2木曜日

脳神経外科 准教授

増岡 敦 先生



得意分野：頭痛専門医
脳神経外科全般

第3木曜日

脳神経外科 病院講師

下川 尚子 先生



得意分野：ITB療法
(脳の委縮が原因で起こる筋肉の委縮)
小児脳神経外科 脳神経外科全般

第4木曜日

脳神経外科 教授

阿部 竜也 先生



得意分野：脳腫瘍
脳神経外科全般
(分子生物学・遺伝子 治療・
腫瘍化学療法・放射線療法)

お知らせ②

2月9日(木) 13:00から、
消防訓練を予定しております。



当日は、非常ベルや避難誘導の放送、
職員の大声でご迷惑をおかけします。

ご理解のほどよろしくお願いたします。

お知らせ③

明細書の発行について

窓口負担がない方にも、明細書を発行
しています。

ご不明な点は受付窓口にお知らせ
ください。



勉強会ありました 院内感染対策委員会

目的 今回、当院での消毒・滅菌方法について見直しを行い、スタッフ全体への情報共有、消毒方法の統一を図り、感染対策への意識付けを目的としました。

内容



滅菌、新しく環境清拭用に取り入れたルビスタに関しては業者の方からの説明を受けました。





私たち感染委員会からは種類別における一時消毒の見直しについて説明しました。




まとめ 今回の勉強会をもとに、外来では多数の患者様の入れ替わりの中で相互感染を引き起こさないように、病棟では、環境整備に努め、安心した入院生活を送れるように留意していこうと思います。

感想

 消毒効果を正しく発揮するためには、用途、濃度、温度、時間が重要であることを再確認することができ、より効果的な消毒が行えるように、院内で使用している消毒液の種類や使用方法等をしっかり把握し実際に行っていきたいと思いました。 看護部 K.R.

 勉強会を通し、普段行っている消毒について使用物品の種類、用途等、消毒方法の違いを改めて知ることができました。消毒液につけておく時間や量など、注意をしていくポイントが明らかになりました。勉強会で学んだことを活かし、業務の中で清潔な物品を提供できるよう努めていきます。 看護部 T.R.

 事務職なので、滅菌、消毒についての知識などはありませんが、今回の勉強会で滅菌・無菌に関してや消毒方法、消毒薬を使用する上での注意点が良く解りました。特に、毎日、掃除の時に使用するルビスタは、知らなかった事や疑問点が解消できてよかったです。

事務部 K.M.



年女紹介



理学療法士 T. S.

新年あけましておめでとうございます。今年も早いもので1月が過ぎました。去年は資格試験に挑戦しなんとか合格をつかみ取ることが出来ました。1月から3月にかけてその研修に追われている毎日となっています。また今年、私は大厄です。いつもはお正月に初詣に行きお祓いをするのですが今年はまだ行けておりませんので少し心配ですが、災い転じて福となるように何事にも気をつけていきます。さて、私の仕事は理学療法士として入院患者様のリハビリに携わっております。ですが、まだまだ満足いく治療はできておりません。もっともっとどうにか出来ないものかと日々頭を悩ませております。今年は去年以上に良いリハビリが行えるように、スキルアップを図り皆様のお役に少しでもたてるよう日々精進していきます。よろしくお願ひします。



患者さまの声



駐車場に車輪止めがあるとよいのですが。

(お返事)

ご意見ありがとうございます。ご迷惑おかけしております。車輪止めを設置すると、救急搬送時の障害になりますので、設置を控えております。後方を確認されて止めてくださいますよう、お願いします。



待合室が乾燥しています。

(お返事)

待合室の乾燥に対応するために加湿付き空気清浄器を置きました。設置後は潤っている感じがします。加湿能力が高い機種ですので、きっとご満足いただけるのではないかと思います。ご意見ありがとうございました。



患者様の貴重なご意見をお待ちしております。

各部署に質問メモを設置していますので、お気軽にご意見をお聞かせください。